

淡青丸 研究航海報告

東京大学海洋研究所

- * 航海番号 KT-08-7 次研究航海
- * 観測海域 房総沖黒潮続流域
- * 航海期間 平成20年4月23日（水）～20年5月7日（水）
- * 出港日時・場所 平成20年4月23日 14時・東京（台場）港
- * 入港日時・場所 平成20年5月 7日 10時・東京（台場）港
- * 寄港期間・場所 平成20年4月28日（月）～4月30日（水）・東京（台場）港
- * 航海の研究題目
（和 文） 黒潮続流前線域における水塊・栄養塩構造と生物生産・浮魚類魚種交代についての観測研究
（英 文） Observational studies on hydrographic structures and pelagic fish replacement around the Kuroshio Extension
- * 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@）
安田一郎・東京大学海洋研究所・教授・ichiro◎ori.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者（e-mail アドレス）, 観測項目
 1. 小型浮魚類仔魚輸送環境の研究, 安田一郎（ichiro◎ori.u-tokyo.ac.jp）, 混合層プロファイリングフロート, ニューストンネット、CTD、乱流計
 2. 小型浮魚類と水温・栄養塩・プランクトン分布の研究, 伊藤幸彦（itohsach◎ori.u-tokyo.ac.jp）, MOHT ネット、表層漂流ブイ
 3. 係留系観測による強乱流現象の解明, 安田一郎（ichiro◎ori.u-tokyo.ac.jp）, 係留系
 4. 乱流混合観測による北太平洋中層水変質過程の研究, 金子仁（kaneko◎ori.u-tokyo.ac.jp）, XCTD、乱流計
 5. 硝酸プロファイラによる表層への栄養塩供給過程についての研究, 池谷透（ctikeya◎ori.u-tokyo.ac.jp）, 硝酸プロファイラ、栄養塩分析
 6. 動物プランクトン生態の研究, 野々村卓美（nonomura◎ori.u-tokyo.ac.jp）, NORPAC・VMPS
- * 乗船研究者氏名・所属・職名
安田一郎・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・教授
小松幸生・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・兼務准教授

伊藤幸彦・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・助教

永江英雄・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・技術専門員

池谷 透・東京大学海洋研究所・環境動態分野・特任研究員

野々村卓美・東京大学海洋研究所・海洋生態系動態部門・浮遊生物分野・農学特定研究員

西川 悠・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・大学院学生

八木雅宏・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・大学院学生

金子 仁・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・大学院学生

山脇有紗・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・大学院学生

丹羽良知・東京大学海洋研究所・海洋生物資源部門・環境動態分野・大学院学生

村田揚成・㈱マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図

